

**ごみの減量化にご協力をお願いします**  
 ~生ごみ処理機モニター事業の経過について~

町では、ごみの減量化を推進しています。平成28年度の燃えるごみの焼却量は2,542トンで、田村東部環境センターで処理したごみの総量は3,177トン、ごみ処理に要した費用(ごみ処理を行っている田村広域行政組合に町が支払った分担金の額)は、約1億3,800万円となりました。これは、ごみを1トン処理するために約4万3千円がかかったこととなります。

各家庭から排出される燃えるごみの約4割が生ごみで、さらにその7割から8割が水分であると言われています。つまり生ごみの水分量を減らすことがごみの減量化に最も効果的な方法となります。ごみに含まれる水分が多いと、ごみを焼却するときの燃料の消費量も多くなるため、水分を減らすことは、ごみ焼却にかかる費用の節減に大きな効果があります。

ごみの減量化のため、家庭の生ごみを出すときには、よく水分を絞ってから出しましょう。またなるべく食材を残さず使い切るようにするなど、生ごみを出さない工夫をすることも大切です。

町では、ごみ減量化対策の一環として生ごみ処理機のごみ減量効果などを調査するため、昨年度に引き続き平成29年度も町

民の皆さんを対象としたモニター事業を実施しています。本事業は、町民の皆さんに生ごみ処理機を貸し出して利用していただき、生ごみの排出量や減量効果、家庭から出る燃えるごみの量などを調査し、生ごみ処理機利用結果のデータ収集とごみ減量化対策の情報発信に活用することを目的として実施しています。

今回はモニターの皆さんから報告された利用記録(10月分から12月分まで)に基づく実績をお知らせします。

今年度のモニター事業は、乾燥式生ゴミ処理機10台、バイオ式生ごみ処理機10台をモニターの皆さんに貸し出しており、モニター実施結果は下表のとおりです。生ゴミの削減率は乾燥式が82.13%、バイオ式が95.71%となっており、どちらの方式も高い削減率となることが確認できます。

また燃えるゴミの削減率が乾燥式で26.85%、バイオ式で33.25%となっており、生ゴミの削減が燃えるごみの減量化に大きな効果があることが確認できます。

引き続きモニター事業を継続すると共に、モニター事業の成果を今後のゴミの減量化対策に活用していきます。

☎町民生活課 ☎72-6933

■生ごみ処理機使用実績(平成29年10月から12月までの実績)

生ごみ処理機の種類	生ごみ投入合計(kg)	生ごみ回収合計(kg)	生ごみ削減量(kg)	生ごみ削減率(%)	燃えるごみ合計※1(kg)	燃えるごみ換算量※2(kg)	燃えるごみ削減量※3(kg)	燃えるごみ削減率(%)
乾燥式	300.97	53.77	247.20	82.13	619.74	920.71	247.20	26.85
バイオ式	375.69	16.13	359.56	95.71	705.68	1,081.37	359.56	33.25

※1 燃えるごみ合計は、モニターの家庭から期間内に排出した燃えるごみの合計量

※2 燃えるごみ換算量は、モニターの家庭から排出された燃えるごみの計量に生ごみの投入量を合計した数字

※3 燃えるごみ削減量 = 生ごみ削減量